

“ドンドン電子化”で業務スピードを加速！ 働き方変革を支える ドキュメント・ICTソリューションのご紹介



コニカミノルタジャパン（株）
ジャパンM A統括部
I C Tソリューション開発G
高橋 誠
2016年 12月 Ver2.0

- **2020年に向けた社会全体のICT（総務省資料）**
- テレワーク推進における課題
 - 紙に縛られない働き方
 - 社内アンケート結果、その対策として
- **ドンドン電子化！**の現状はどうですか？
 - 活用事例 1（Share Point 編）
 - 活用事例 2（FAX 編）
 - 活用計画 3（コンカー利用編）
- セミナー事前案内

2020年のICT環境

会社のガバナンスや個人のワークスタイル・リテラシーがより問われる時代（総務省） KONICA MINOLTA

社内環境

主要デバイスの変化



ユーザインタフェースの変化



クラウドが全てを繋ぐ

クラウドが大きくなり、重要性を拡大する
・ローカルサーバー
・レガシーアプリ



ビッグデータ解析



認証

セキュリティがより重要になり、認証精度や認証手法が多様多様で性能向上



既存の認証方法のみならず、新たな認証方式が多数出現し、セキュリティ向上は大きな課題であり必然

オフィス環境変化



遠隔会議／自宅オフィス

コミュニケーション性の向上

リアルタイム翻訳 遠隔会議システム



社外とのコラボレーション
コ・クリエーション

業務場所の制約が無くなる



コミュニケーション性向上や臨場感など遠隔であっても現地と同じ仮想体験が可能
ホログラフィー

どんな場所であっても、会社と同様の生産性/コミュニケーション性を維持することが可能

社外

新たなスマートデバイスの活用



言葉の壁をなくす

- 多言語音声翻訳対応の拡充
- ✓ グローバルコミュニケーション開発推進協議会中心に翻訳技術の社会実装化。
 - ✓ 対応する言語や分野の拡充(医療、ショッピング、観光等分野)。

2017年までに10言語での翻訳対応拡充

情報の壁をなくす

- デジタルサイネージの機能拡大
- ✓ 災害時の情報一斉配信、属性に応じた情報提供実現。
 - ✓ このため、DSC※1中心に共通仕様策定、サイネージの機能を共通化。

2015年度に共通仕様策定

移動の壁をなくす

- オープンデータの利活用推進
- ✓ 公共交通の運行情報等がリアルタイムに把握可能に。
 - ✓ 公共交通オープンデータ研究会を中心に観光地等における社会実証。

2018年までに情報提供サービス実現

日本の魅力を発信する

- 放送コンテンツの海外展開
- ✓ 関係省庁連携の下、BEAJ※2を中心、放送局や権利者団体が協力しつつ推進。

2018年度までに放送コンテンツの売上げを2010年度の約3倍に増加

高度なICT利活用

※1 DSC: 一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム

※2 BEAJ: 一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構

【各分野横断的なアクションプラン】

I. 都市サービスの高度化

一スマートフォンや交通系ICカード等を活用。街中や公共施設のサイネージ、商業施設や宿泊施設等において、訪日外国人、高齢者、障がい者をはじめ、誰もが、属性(言語等)や位置に応じた最適な情報やサービス入手。

II. 高度な映像配信サービス

一映画館、美術館・博物館、競技場などの公共空間のデジタルサイネージ等大画面に対し、臨場感ある4K・8Kの映像配信を実現。

2015年度中に実施地域、実施主体を決定、2016年度中実施地域での先行着手

2015年度中に実施地域、実施主体を決定、2016年度中実施地域での先行着手



世界最高水準のICTインフラ

※3 NexTVフォーラム: 一般社団法人 次世代放送推進フォーラム

接続の壁をなくす

- 無料公衆無線LAN環境の整備促進
- ✓ 無料公衆無線LAN整備促進協議会中心に、認証連携等に着手。
 - ✓ 主要な公共拠点(約29000カ所)に整備。

2015年から認証連携等に着手
2020年までに公共拠点整備

利用のストレスをなくす

- 第5世代移動通信システムの実用化
- 通信容量 現在の1,000倍
 - 通信速度 10Gbps、接続機器数 100倍
 - ✓ 第5世代モバイル推進フォーラム中心に2017年度から5Gの技術統合実証。

2020年に5Gを世界に先駆けて実用化

臨場感の向上、感動の共有

- 4K・8Kの推進
- ✓ NexTVフォーラム※3中心に4K・8Kの実用放送開始等に必要な環境整備。

2018年に4K・8Kの実用放送開始

利用の不安をなくす

- 実践的セキュリティ人材の育成
- ✓ ICT企業間での情報共有と、大規模サイバー演習のためのICT-ISAC(仮称)等体制整備。

2016年度までに体制・環境整備
2017年度から大規模演習等開始

テレワーク推進における課題



KONICA MINOLTA

テレワークで利用するために 各種文書を電子化する



各種紙文書

社内文書を
電子化する



OCR・フォルダ振り分け
リネームなど作業の手間が発生



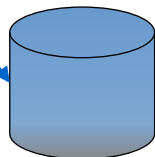
文書管理システムやクラウドストレージ
メタデータとともに保管

ドキュメント
ライフサイクルを
適切に保つ

基幹システムを利用
Webアクセス



管理ルールに沿って
特定のフォルダへ保管



社内コンテンツ・システム を利用する



情報漏えい対策と勤務時間の管理
適時・適切なコミュニケーションの推奨



リモートでの
不正な印刷
を防ぐ



社内文書や
基幹システムへ
アクセスする

音声、プレゼンス
コミュニケーション
基盤

社外から社内システムへの
セキュアなアクセス手段
部門横断的な情報検索手段
担当業務部門・検索手段

職場と同様な
コミュニケーション
情報伝達が必要
リアルタイムで行う
文書共有
デバイスに依存しない

紙にしばられない働き方①

- ✓ お客様に関連する情報が部門横断的に利用できる
- ✓ 場所・時間的な制約から解放される

before

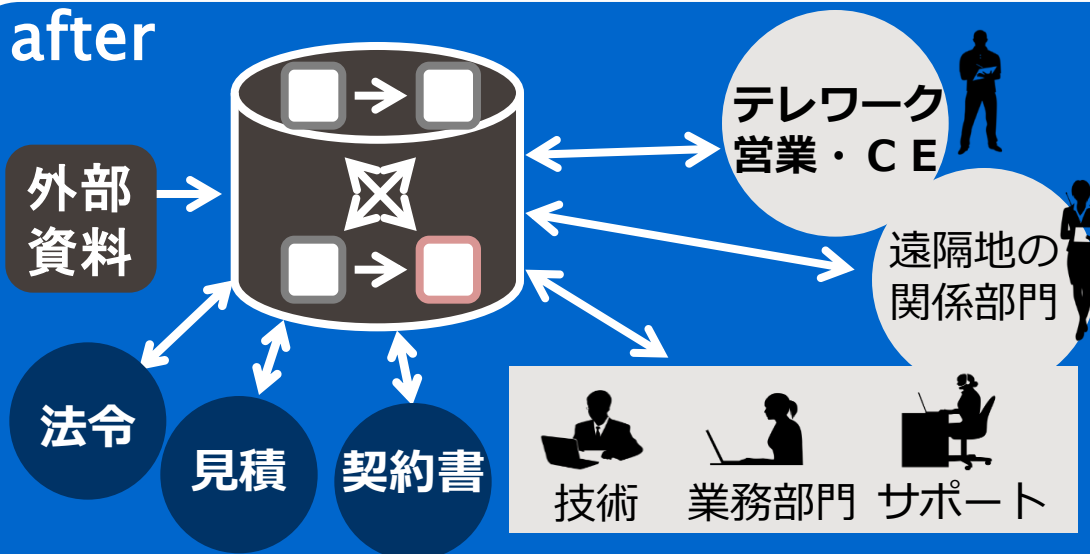


各部門で重複して
保管している書類



個別に最適化？

after



書類をデータ化して
一元管理すると
関連情報が紐付される



利活用できる
有益な情報

紙にしばられない働き方②

- ✓ 業務プロセスがシンプルになり、待ち時間・移動時間を削減。
社員ひとりひとりの業務効率がUP

営業と業務の一日



紙にしばられない働き方は
働き方変革につながる

2800名のうち2500名社員が回答をして頂きました。

【一般】テレワーク期待・自由コメント

通勤の準備・往復時間が短縮され家族との時間が増えた。早くに業務を開始し、その分早めに終了できるので、普段十分に時間が取れない晩ご飯の支度もでき、ワークライフバランスの向上に最適だと思う。SSL-VPNで繋がるのでコミュニケーションも問題なく取れた。今後も積極的に活用したい。

自宅では環境がないのと資料が手元になく効率が悪い。

テレワークされている方達にFAXや郵便が届いた際、電話やメールで確認したり添付してメールしたりと在勤者の業務は増えました。

業務センターで社外品の受発注を担当しています。複数担当者で、主にFAXで受発注をする今の形では、テレワークでの業務は不可能かと思われます。

ワークライフバランスやBCP対策等において有効と思う。月数回程度であれば、個人の裁量で計画的に実施できる制度は良いと思う。

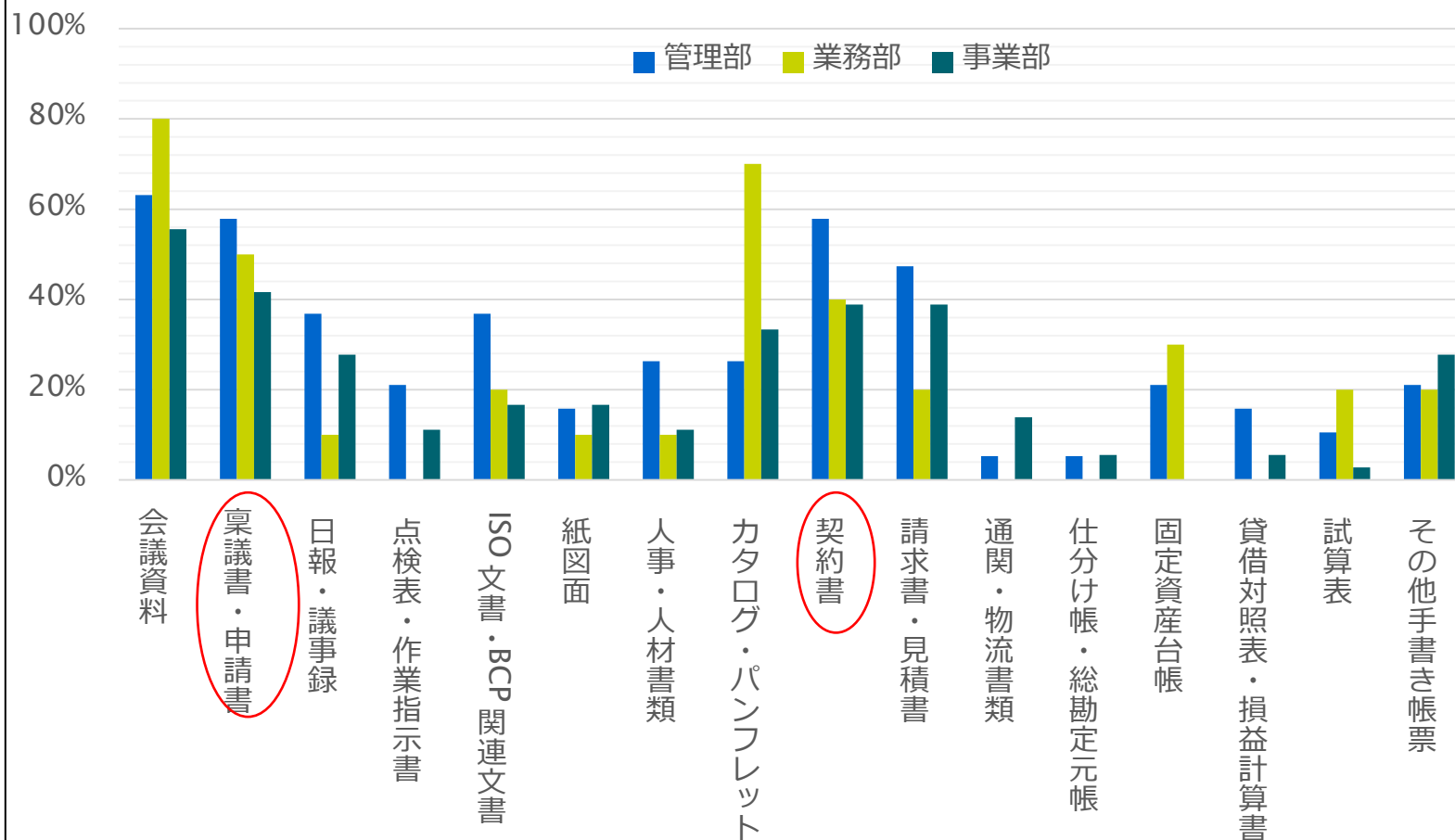
事務所に販売店からの注文TEL・FAXが来るので現状ではテレワークは難しいです、代理店などからFAXで連絡がくることが多い。受信FAXをメール転送して貰う手立てが必要と思う。ユーザーより注文書等FAXで来るケースもあり、内勤職へ依頼しないとメール配信など連絡が来ない。

業務上実機検証などもあり毎日テレワークはできないが、週1程度取り入れるのはワークライフバランス向上の面で非常に良いと思う。

- ドンドン電子化！と言われながら、紙文書の削減や電子化が進んでいない状況が、オフィス環境で発生しています。
(社内、社外アンケート結果:2016年4月に実施)
- なぜ、ドンドン電子化！が進まないのか？
 - お客様から、FAX文書や見積書等、紙文書が次々と送付されてくる。
 - ドンドン電子化！作業を行う担当がいらない（したがない）。
 - 効率的なドンドン電子化！の方法が分からない。作業が複雑。
 - 過去から溜まっている紙文書のドンドン電子化！方法が分からない。

ドンドン電子化！できる、 **Dispatcher Phoenix**
ご紹介させていただきます。

キャビネットを占める文書 部門比較



ドンドン電子化！における背景と課題



KONICA MINOLTA

背景

- スキャンされた文書は、ファイル名変更・傾きや斑点を除去・OCR処理・保管場所の振り分けなど、様々なプロセスを経てファイルサーバやクラウドストレージ、文書管理システムに保管され、メールで配信されます。

課題

- 業務や文書の種類ごとに、人による判断・手動での作業により処理されることが多く、ルーチンワークを人力で行うことによる非効率やオペレーションミスが起きていることが多く、必要な情報が共有されないという課題が発生します。



ミスによる不適切な処理

ノウハウが属人化

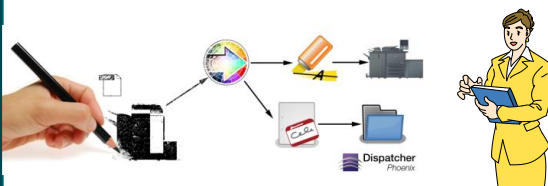
手間がかかりすぎる



必要な情報が共有されない

解決策

- これらのプロセスやコンテンツの出力を自動化することで、より正確により簡単に、情報の活用を実現することが可能です。ボタン一つで複雑なプロセスを実現します。



正確な処理

プロセス可視化
簡素化

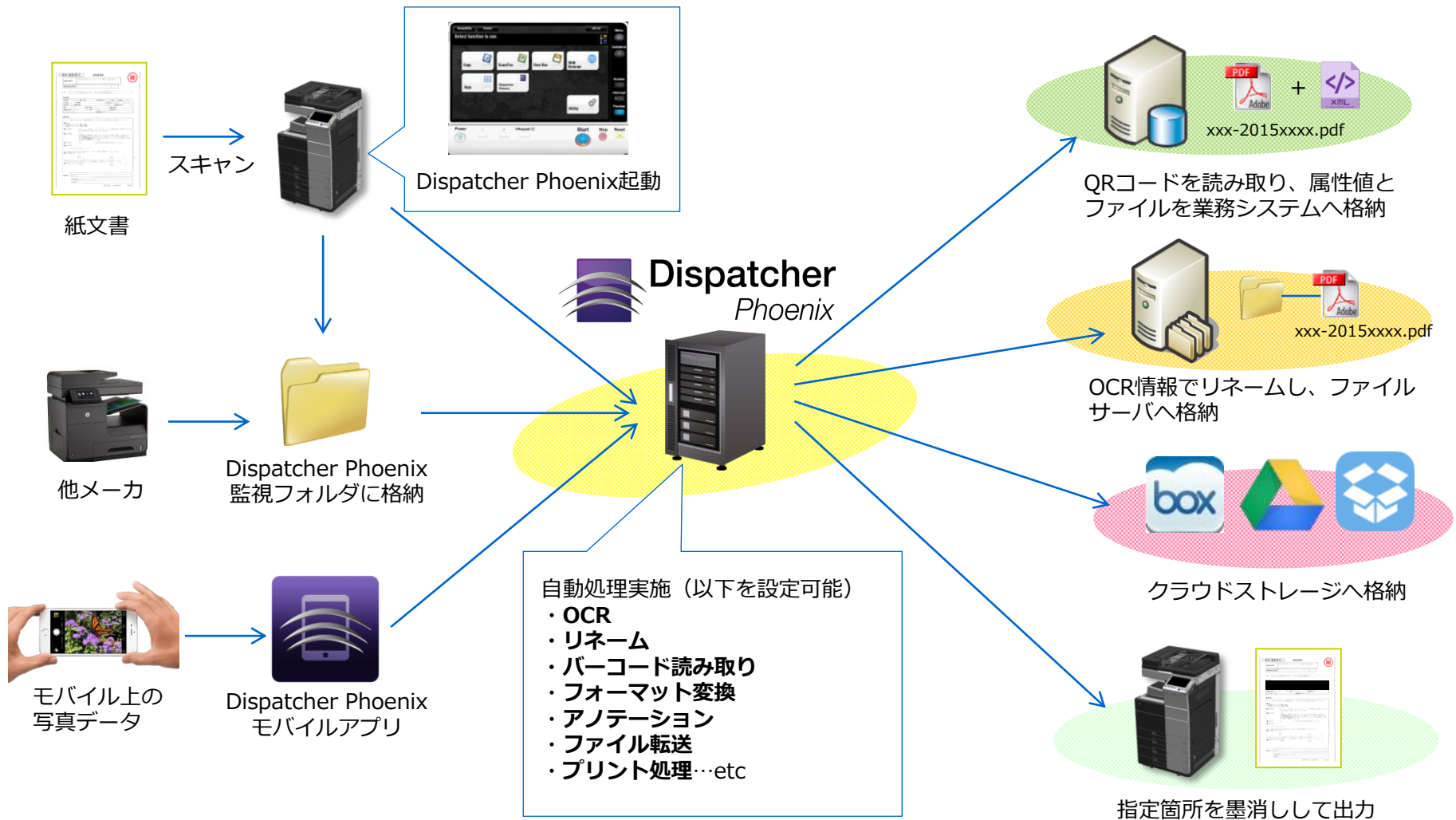
電子化効率向上



必要なコンテンツが共有される

Dispatcher Phoenix

システム・アーキテクチャ



Dispatcher Phoenix の豊富な自動処理ノード



KONICA MINOLTA

収集



✓ フォルダ、複合機、SMTPやLPRからファイルの収集が可能

ファイル加工プロセス



✓ 画像処理、OCRや分岐など様々なプロセスの自動化を実現

配布先



✓ 複合機、フォルダ、FTP、クラウドストレージや文書管理システムなど多くの配布先に対応

背景

- 取引先からの注文書をFAX等で受け取り社内の事務処理を行っていたが、迅速に処理を行い、ビジネス機会の損失防止が必要となっている。
- 社内インフラ環境がクラウドに移行しており、ビジネスもクラウド中心となっている。

目的

- クラウド環境(Azureサーバー)に取引先毎の格納エリアを設け、お客様からの契約書、注文書を格納していただき、電子化する。
- 活用できていないOffice365のSharePointを活用する。

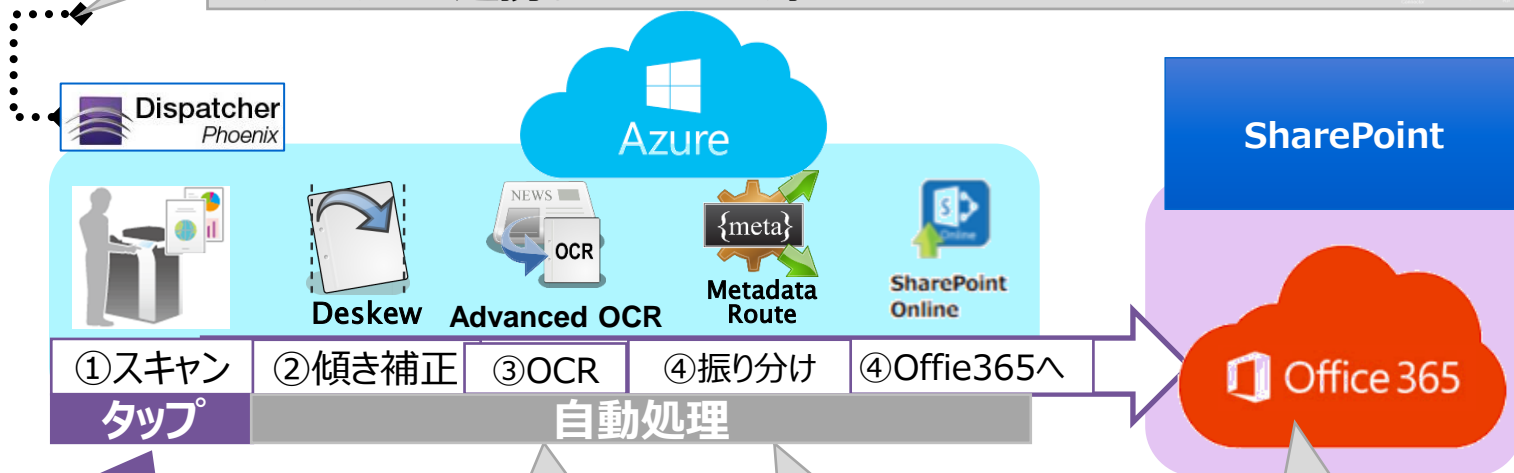
ゴール

- SharePoint Onlineのワークフロー機能を利用し、社内承認作業を迅速に処理させ、SFA機能に連携させる。
(証跡管理、契約期間管理を行う)

取引先からの契約書をDPPを利用し、分類してからワークフローに連動する。

- ・契約書タスク自動化
- ・ワークフロー
- ・SFA登録

- ・Microsoft Azure上のDPPからSharePointのOneDriveへ保管するなどの作業を定義し自動化
- ・OneDriveに保管された契約書を営業、法務でワークフロー連携し、SFAに登録。



パネル操作で開始



- ・エリア指定してOCRが可能
- ・カバーシートのバーコードで取引先識別可能

- ・OCR結果によって取引先毎に処理を分岐

- ・SharePointのワークフローで契約書内容を承認し、SFA機能へ登録

メリット

- ✓取引先からのデータ連携 → **DPP on MS Azure**
- ✓SFAへの連携 → **ワークフローで契約書確認**
- ✓取引先との契約がスムーズに完了し証跡も管理



文書電子化から承認までをワークフローを利用して完結

⇒ **デモ動画をお見せします。**

FAX受発注業務の課題

人手によるF A X転送作業の負担が大きい

紙文書での保管は非効率で、テレワークで利用できず

受発注F A Xペーパーレス化

ペーパーレス化によるメリット

F A Xのペーパーレス化によるコスト削減（印刷コスト）

受信F A Xの自動仕分け、F A X自動送信
受発注処理を完結（業務効率化、人為的ミス）

F A X文書の電子化による検索性の向上

FAXダブル連携

(得意先～卸売り～仕入先) 受発注FAXペーパーレス化



KONICA MINOLTA

① 得意先FAX注文



注文書FAX

得意先担当者

注文書



バーコードに
仕入先FAX番
号情報を付与

② 注文書FAX受信



受信FAXデータを
ユーザーボックス
へ自動で格納保存



傾き補正



OCR

ゾーンOCR



PDF

PDF変換



受信FAX
データ

リネーム

受信FAX
データ確認後
送信フォルダに
帳票を格納



受発注担当者



担当者へ
メール通知



送信フォルダ



受信済



FAX番号読み取り



FAX番号セット



FAX番号セット

⑤ 仕入先FAX受領



仕入先担当者

発注書の
FAX受領

発注書



④ FAX自動送信

複合機から
自動FAX送信



Blue
Sweeper

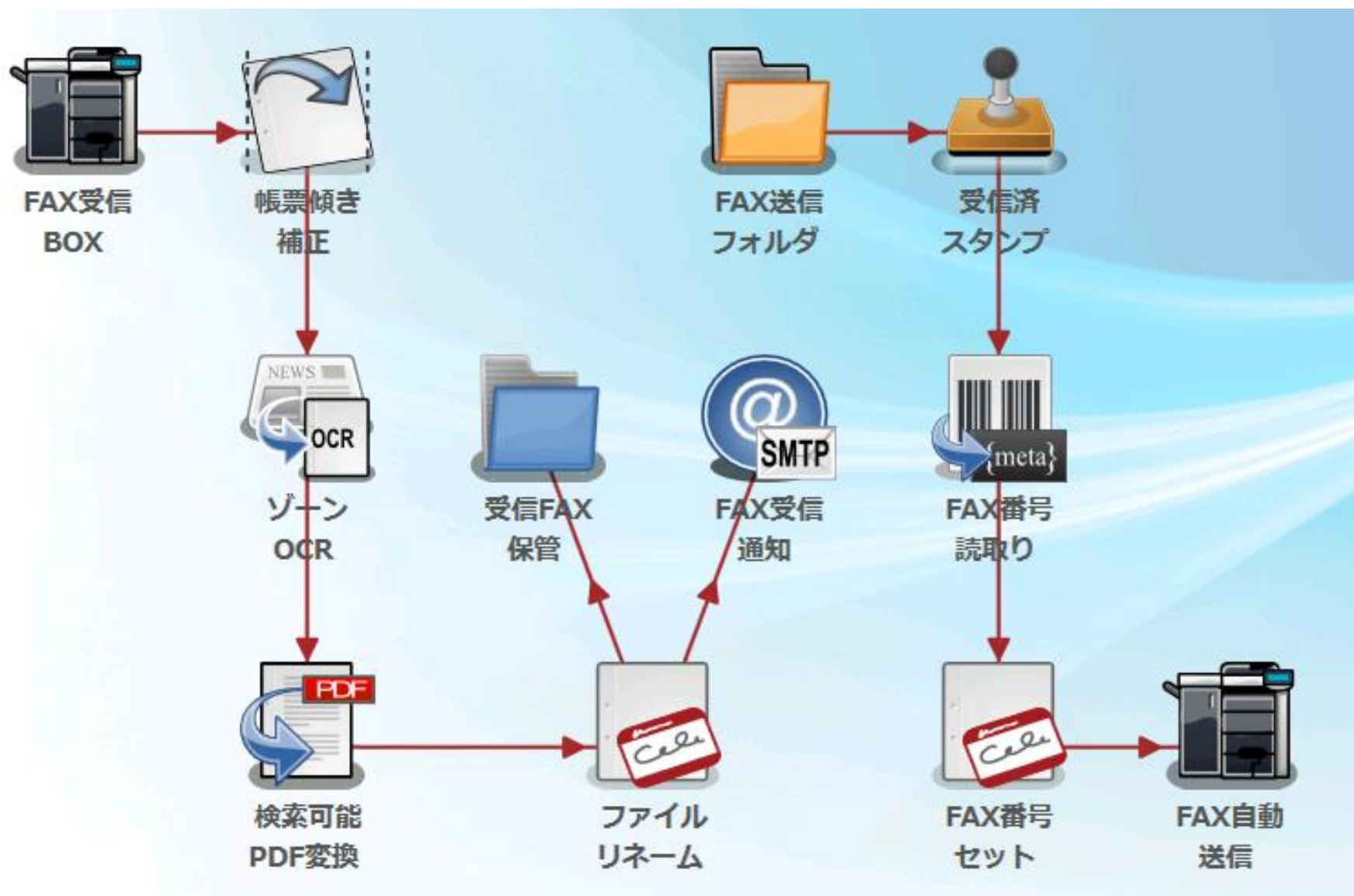
⇒ デモ動画をお見せします。

© 2016 Konica Minolta Japan, Inc.



FAXダブル連携

受発注FAXペーパーレス化タスクフロー



領収書を電子化するためのコニカミノルタ自社実践計画



KONICA MINOLTA

証憑の自動登録（タイムスタンプ付き）

①従業員が証憑を受領



領収書等



②証憑電子化（MFPスキャン Or モバイル写真機能）



Or



スキャン

写真機能

アドレス取得

リネーム

TSフォルダ

③TS付与



タイムスタンプ

検査終了まで
事業所等にて
原本保管する

領収書等



⑥原本廃棄



④システム登録



登録フォルダ



メール送信



個人の
領収書
プール



OnBaseコネクタ



⑤経理担当者等による検査

経費精算処理

- ・レポート起票
- ・領収書紐付
- ・承認依頼
- ・上長承認
- ・支払処理

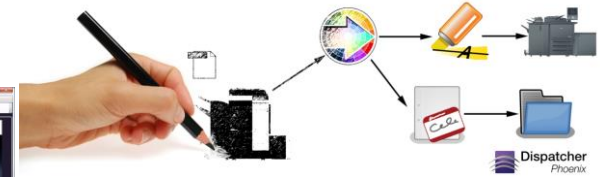
証憑(領収書等)
スキャンデータ
のマスタを保管

⇒ デモ動画をあります。

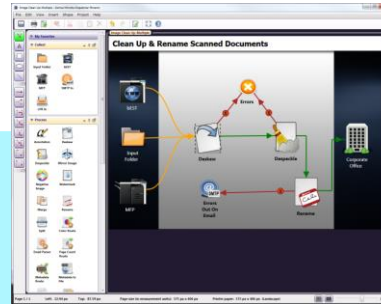
ドキュメント活用に関わる、単純な業務処理の自動化を実現する（**ドンドン電子化！**）



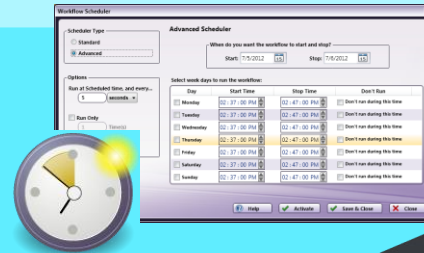
Dispatcher Phoenix



- ✓ ドキュメント収集、加工、配布までGUIでタスクフローの作成が可能



- ✓ スケジュールによる自動タスクフロー実行



- ✓ 複合機でワンボタンによるタスクフロー実行



コニカミノルタbizhubとタスクフローのシームレスな連携

コニカミノルタの働き方変革を実現するソリューション



KONICA MINOLTA

働き方変革の実現 ～いつでも・どこでも働ける環境作り～

紙に縛られない働き方の実現

コスト削減

効率化による
業務時間の短縮

業務生産性向上

情報共有・連携
スピードの向上

リスク低減

紙文書による情報
漏洩リスクの低減

文書管理・運用の見直し



どこから電子化を
始めればいいのか知りたい。

ドキュメントアセスメント

紙文書のデジタル化



手間なく、正確に
デジタル化したい。

Dispatcher Phoenix

稟議決裁ワーク の効率化

出張中でも決裁
判断が滞らない
ようにしたい。

アジャイルワークス

X-point

文書管理・検索・活用

部門横断して書類
を共有したい。
外出先でも書類を
閲覧したい。

Cross Lead

Hyland OnBase

Neuron

保管文書ゼロ化 の取り組み

「働き方変革」自社実践 ノウハウの提供

テレワークの 取り組み

場所に縛られない働き方の実現

コスト削減

移動コストの削減

業務生産性向上

情報共有・連携
スピードの向上

リスク低減

BCP対策の強化

情報共有

ファイルを
どこでも見れるようにしたい。

Office 365

SharePoint

Box



コミュニケーション の円滑化

移動先でもチームメン
バーと連携したい。

Office 365 Lync

CISCO WebEX / Vidy



テレワーク推進

どこでも安全に
業務PCを使いたい。

Microsoft Remote Desk

デスクトップ仮想化 (VDI)



印刷業務の効率化

自席以外のフロアからも
スムーズに印刷した
い。

SafeQ

SmartSESAME



オフィスソリューション

オフィスでのコミュニケーションを活性化させたい。



オフィスデザイン

会議活性化ソリューション

ペーパーレス化で業務改善！ 自社実践に基づくキーポイント解説セミナー ～ドンドン電子化！業務スピードを大幅アップさせる紙文書の電子化と利活用～

大阪開催 : 2017年1月24日（火） 15:00～16:50
名古屋開催 : 2017年1月25日（水） 15:00～16:50
東京開催 : 2017年1月26日（木） 15:00～16:50

▼大阪開催ページ



▼名古屋開催ページ



▼東京開催ページ





KONICA MINOLTA

働き方変革を支える、“保管文書ゼロ”、“テレワーク活用”
“ドンドン電子化！” Dispatcher Phoenix活用事例
ご清聴頂きありがとうございました。